

第3回総合体育館基本構想検討委員会 議事概要

1 開催日時・場所

令和3年7月21日（水）12時15分～14時15分
和歌山県民文化会館

2 会次第

- (1) 開 会
- (2) 議 事
 - ① 第2回委員会で出された意見について
 - ② 県議会における論議の状況について
 - ③ 施設の機能，規模・構成等の検討について
 - ④ その他
- (3) 閉 会

3 議事概要

- (1) 第2回委員会で出された意見について
 - ・ 事務局から，第2回委員会で出された意見及び新たな総合体育館の基本構想策定に向けた検討の進め方について説明
- (2) 県議会における論議の状況について
 - ・ 事務局から，県議会（令和3年第2回定例会）における論議の状況について説明
- (3) 施設の機能，規模・構成等の検討について
 - ・ 施設の機能，規模・構成等について検討し，以下の競技面数や観客席の規模を目安に，今後，具体的に検討を進めていくことで概ね委員間の共通認識が得られた。

競技面数

メインアリーナ：バスケットボールコート4面
サブアリーナ：バスケットボールコート2面
柔剣道場：各2面（計4面）

観客席

8千席程度を基本

- ・ 次回の検討委員会までに、事務局において「みる」スポーツや「ささえる」スポーツに必要な機能について、各委員の意見を聴取・整理するとともに、今回各委員から出された意見について整理した上で、次回の検討委員会で引き続き検討することを確認

4 委員の主な意見（要旨）

- 新総合体育館は、アマチュアスポーツの大会利用などスポーツ振興のための施設として検討を進めており、この施設にプロフィット化や収益事業を求めるのは考え方として逆行している。スポーツ振興を考えた場合の収入源は施設の利用料金であり、単価が安いというのは当たり前にある。そのため収入があってもコストの方が高く収益は成り立たない。これを覚悟でスポーツ振興はやらないといけない。
- 「する」スポーツに軸を置くとしても持続可能性をしっかりと考え、少しでも赤字を改善するように収支のバランスを考えるべきである。
- 事務局が提示した81m×46mのコートサイズでは、メインアリーナでバスケットボールコートが4面使用した場合に、選手が移動するスペースがない。4面でもしっかりと運営ができるコートサイズが必要である。
- 事務局が提示した競技面積は、今後の議論によってはスペースの割り増しが必要ではないのか。数字ありきで、コート長辺・短辺をここで確認したという流れにしてしまうのは良くないと思う。
- 4面とれる長辺80mを超える体育館は、現在それ程なく、それらの施設では無理にフリーゾーンを縮めて4面で運用している状況である。80mを超える体育館が、現在それ程ないのに、なぜ鹿児島で作る必要があるのかという議論になったときには、もっと良い体育館を作るためには必要なことであることを理詰めで説明すべきである。
- 車椅子バスケットボールの選手が車椅子同士ですれ違えられる、通れるような身障者のことも考慮したコートレイアウトを考えてほしい。
- 事務局が提示したコートレイアウトでは、4面できちんとした大会の運営はできないと考えるべきである。81mさえとれば4面でできるということではないことについて、委員間で共通の認識を持つべきではないか。
- 和歌山ビッグホエールを視察したことも踏まえた印象として、事務局の提示したコートサイズを議論のたたき台として、今後議論を深めていけば良いのではないか。

- スポーツを主軸に置きつつ、人口減少、国際化の進展、情報社会の到来を受けて、地域活性化に寄与するために県外からの交流人口の増加に繋がる施設であってほしい。
- 鹿児島の場合は1万人規模のイベント実績はないので、8千席程度が良いのではないのか。
- 会議室や搬入口への配慮も必要であり、インターネット環境の整備、ポストコロナへの対応がしっかりした施設を検討すべきである。
- 整備場所については街との連続性がある場所が望ましく、スポーツミックスの場所か商業ミックスの場所なのか検討する必要がある。
- コンベンションを鹿児島ですると考えるなら、観客席は1万席程度必要ではないのか。
- 本県の財政状況も厳しいので、施設の収支を考えるべきであり、プロフィットとは言わないまでも赤字が出ないような仕組みは考えるべきでないか。
- ナショナルトレーニングセンターのような選手の育成の場という考え方が、どれだけ取り入れられるかということも1つの施設を作る上でのテーマになると思う。
- 体育館は、スポーツのスタジアム・アリーナガイドライン等では、スマートシティということで、人の集まりやすい場所に作るというのが基本である。観客席8千人という規模を決めたがゆえに、その面積を確保するために土地選定において、山の中に作るというようなことだけはやめてほしい。
- 「みる」スポーツ、「ささえる」スポーツに重要なのは、エントランスの空間や諸室であり、これらについて調査が必要と考える。